宮島 古寺めぐり　しまあかり宮島

宮島の古刹 × 現代アート

～幻想 厳島物語【参の巻】～

真光寺（しんこうじ）

島内では唯一の浄土真宗の寺。かつて宮島には厳しい霊地法度があり、その中で真宗ご法度が唱えられていましたが、安芸門徒の移住や婚姻関係等で真宗信者が増え、戦前に説教所が発足。終戦後に法令が改正され、独立した寺院となりました。

佐伯 勲（さえき いさお）

1963年　東京阿佐ヶ谷美術学校
デザイン科卒業
船木鷹月に師事

1996年より毎年12回東洋画連展に出品
2006年より3年連続全国水墨画公募展に入選

佐々木 一則（ささき かずのり）

1945年　広島県生まれ
1988～1989年　ヒロシマ・アートウィーク88展・89展
1994年　アジアひろしま美術大賞展　奨励賞
2002年　第70回既文化祭・夢フェスタ2002　入選
2003～2006年　県美展　奨励賞（2回）
2007年～2009年　個展（てんぐスクエア）
2008～2010年　ひろしまナイト大賞（優秀賞）（3回）
2013年　新牧ギャラリー個展／ギャラリーG個展
2015年　日本現代工芸美術展

徳寿寺（とくじゅじ）

「金石（きんせき）地蔵」と呼ばれる子授け地蔵で有名な曹洞宗の寺。その由来は、老夫婦が子どもがいないのを憂い仏様に祈り続け、ある夜、竹林の中で輝いている石の地蔵尊の夢をみて、竹林に行ってみると本当に石の地蔵尊があったとかで、その地蔵を手厚く供養すると男子を授かり、長じて広島藩主お抱えの力士になったことから、夫婦はこの地蔵尊に深く帰依し正徳5年(1715年)に御堂を創建。さらに安置した石の地蔵尊がいつの頃からか黄金色となり、以来、金石地蔵と呼ばれるようになったと伝えられます。

結城 香華（ゆうき こうか）

鯉水会・師範、日本書芸院・無鑑賞
1989年　読売書法展　入選
2001年　ナショナルショーム個展
2004年　宮島・宮郷ギャラリー個展
2006年・2008年
　福屋デパート駅前店個展
2011年　南区民文化センター
　生徒合同作品展
2014年　パリ・エキスポジャパン出展
2014年　ギャラリーG作品展
1990年～例年　福屋駅前店「日本の書出展」出品

イメージ図

美音異星人（びおんいせいじん）

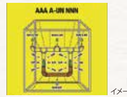
98年豊島ひおん（本名：豊島隆弘）が第1回岡本太郎記念現代芸術大賞展で「音感」を発表。その際の作品を使ってのパフォーマンスがきっかけで美音異星人が誕生する。美音発生装置である「美音マシン」を操作し、全身パネだけのアーティスト義成ギフスを装着しアートダンスをするのが主な特徴。美音や身体性をテーマとした絵画、グラフィック、イラストレーション、音楽、映像なども随所で発表している。

存光寺（ぞんこうじ）

要害山の麓にある曹洞宗の寺。開基は不明ですが、約300年前に出雲の一畑薬師から十二支神を持ち帰って開いたと伝えられる薬師堂があり、目の不自由な人に対してご利益があるとして信仰されています。かつては厳島合戦で敗れた陶軍の将兵の霊を弔うために、毛利軍が甲冑をつけて舞った事に由来する湯立神楽が行われていました。

ヤマモトテルミ

六歳より前衛書道家
竹澤丹一に師事
東洋書芸院　審査・理事
産経国際書会　審査
広島県水墨作家協会　理事
広島芸術学会会員
太陽社同人
広島、東京、ニューヨークで作品発表



イメージ図

よこた よしき

アートディレクター、絵描き、インスタレーション作家。26才のときからモノクロの絵を描き始める。初期は自らを主人公とした物語性のある作品を、油性ペン「マッキー」を使用して制作。中期からはライブペイント、インスタレーション、演劇作品、詩等、ミュージシャンや他ジャンルの作家とコラボレートし活動の範囲を広げる。過去のコラボレーションが結実した東広島市観光協会との共同企画「西条酒蔵芸術祭→Connert←」をはじめ、近年は作家活動と並行してイベントの企画、ショーの演出等、アートディレクションも手掛ける。

不動堂（ふどうどう）

不動堂は厳島神社の「艮（うしとら）」にあたることから鬼門鎮護のために建てられました。不動堂は大御堂といわれ、厳島神社の東北にあり、鬼門鎮護の霊場です。明治維新の混乱期に本尊の釈迦如来様が持ち去られ不動明王と毘沙門天のみが残り不動堂と呼ばれるようになりました。

村上 忠士（むらかみ ちゅうし）

墨鎬会同人、広島県水墨作家協会理事
広島市立小学校非常勤講師
広島県美展優秀賞1・奨励賞3、
毎日書道展秀作賞3、公募「広島の美術」入選4
米国・ロズウェル市文化芸術センター
米国・ハーケンス芸術センター　出品

正司 強（しょうじ つよし）

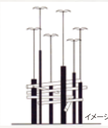
広島市立大学大学院芸術学研究科
博士後期課程　修了　博士号（芸術）取得
1998年　第83回二科展　入選　以後毎年出品
1999年　第43回広島支部二科展　以後毎年出品
2005年　フォルマーレ展（広島市民交流プラザ）
2006年　個展「正司強作品展～THE NUDE～」（ギャラリーg）
2007年　第59回広島県美術展（60回、61回、62回、63回）

宝寿院（ほうじゅいん）

Fanny Harlan（ファニー ハーラン）

1993年 ドイツの小さな町、ノイスに生まれる
シュタイナー学校を卒業後、2013年に
Hochschule Hannover に入学し、
写真報道学と記録写真学を専攻する
2015年9月より現在まで広島市立大学に留学中

天慶9年(946年)、開基と伝えられる真言宗の古刹。寺のすぐ裏手の山に「馬骨木（あせび）」が群生していたことから「あせび寺」とも呼ばれています。本尊の秘仏・阿弥陀如来をはじめ、数多くの仏像・仏画を所蔵。また境内の聖天堂に祀られている歓喜天（聖天さん）は、商売繁盛の神として有名。



イメージ図

福島 俊を（ふくしま とし）

1984年・1988年「広島の美術」入選
2006年　第4回廿日市景観づくり大賞
　（宮島・ぎゃらりい宮郷）
2006年・2009年・2012年　東広島DNA展
2008年・2010年
　広島市街づくりデザイン賞受賞
2014年　しまのわ2014宮島しまあかり
　アートプロデュース
2015年　ひろしま3都、道めぐり
　アートプロデュース

イメージ図

中山 なぎ（なかやま）

1990年　広島県廿日市市出身
2014年　アメリカ合衆国イリノイ州
　コロンビアカレッジシカゴ
　アートマネージメント学部卒業
中学生時代より、福島俊をのもとでアシスタントとして活動。アメリカ学生時代には彫刻家バーバラ・クーパーのアシスタントとしてインターンシップをする

大願寺（だいがんじ）

正式な呼び名は、亀居山放光院大願寺（開創802年）。この寺の秘仏厳島弁財天は弘法大師空海の作と伝えられ、日本三弁財天の一つ。弁財天は現世利益の女神様で、神仏習合の時代は厳島神社の主神・市杵島姫命が理財の女神として崇められるようになり、仏教の弁財天と同一視されていました。

夏目 暢子（なつめ のぶこ）

神話山門下
墨象展大賞　墨の芸術展大賞
公募「広島の芸術展」
競部「清月堂画廊」三人展
広島芸術学会展　水墨作家協会展
ドイツ・ハノーバー交流展　韓国交流展
個展（福屋柿画廊・ギャラリートミタ・尾道孔雀荘等）
アトリエ夏目仲間たち展
安田女子大学非常勤講師

徳持 耕一郎（とくもち こういちろう）

1982年　創形美術学校版画科卒業
1985年　第１回和歌山版画ビエンナーレ展
　（和歌山県立美術館）
1986年　第8回フレンペ国際版画トリエンナーレ展
　ブダペスト国際"Art of Today '86
1989年　個展（NYグリニッジ・ビレッジOpen House Gallery）
1998年　パナソニック・アートコンペティション in NY
　（ジャズ・ギャラリー）
2001年　作品展「Figures」
　（岡山県奈義町現代美術館）

大聖院（だいしょういん）

正式な呼び名は多喜山水精寺大聖院。霊峰・弥山の麓にある真言宗御室派の大本山で、明治の神仏分離令までは十二坊の末寺を有し、厳島神社の別当職として祭礼を司ってきた宮島の総本坊です。寺伝によれば、大同元年(806年)に弘法大師空海が三鬼大権現を勧請し弥山を開基して以来1200年の歴史をもち、弥山山頂の霊火堂や三鬼堂、求聞持堂などの管理にも携わってきました。本堂は島羽天皇の勅願道場として創建されたことから、島羽天皇の第五皇子である覚性法親王が門跡を務めた京都・仁和寺や歴代皇室との結びつき深く、安土桃山時代には後奈良天皇の御子で仁和寺第二十世任助法親王が法流相伝のために混留、明治天皇の厳島行幸の際には行在所となっています。今日厳島神社の年中行事として行われている八月の玉取祭や大梅日の鎮火祭は、任助法親王が京より伝え天正年間に大聖院から始まったもの。また天下統一を果たした豊臣秀吉がここで盛大な歌会を催し、祈不動堂を再建して念持仏の波切不動明王を奉納したことでも知られます。

藤村 満恵（ふじむら みつえ）

前衛書道家　竹澤丹一先生に師事
太陽社同人兼経国際書会審査員
東洋書芸院同人会員
映画「天地明察」のエンドロールのタイトルバックに使用される

桑田 覚（くわた さとる）

1991年　個展「鉄の挿げしもの」
　Vol.1,Vol.2
　（ヤマハリビングレディ）
2004年　「医療と美術」（広島大学付属病院）
2008年　「鉄で造る、桑田覚／村中保彦展」
　（廿日市美術ギャラリー）
2011年　個展「花と人」（広島そごう）
2014年　個展「鉄のさすけもの」
　（天満屋美術画廊、
　八丁堀アルハイク店）

光明院（こうみょういん）

室町時代、以八（いはち）上人が開基した浄土宗の古刹。町民の信仰のために建てられた宮島で最初の檀家寺です。宮島には壇ノ浦の合戦の際、海に身を投げた二位の尼の遺体が有之浦に漂着したという言い伝えがあり、光明院の隣にあった神泉寺に尼を弔って阿弥陀堂を建て尼の木像を祀っていましたが、神泉寺が廃寺になり光明院に移され、現在は宮島歴史民俗資料館で弔っています。また、「宮島の恩人」として名高い誓真和尚が修行した寺でもあり、山門前には誓真大徳碑が建てられています。

横山 悠水（よこやま ゆうすい）

第56回広島県美術展大賞受賞
日本書芸院漢字二科審査員
日本書芸院かな無鑑査
正筆会理事、陽水会会員
広島県書美術振興会評議員

鳥谷部 圭子（とりやべ けいこ）

第8回公募「広島の美術」　佳作
第45回朝日陶芸展　入選
第41回女流陶芸展公募展
京都竹知事賞
第46回朝日陶芸展　奨励賞
国際陶芸展美濃'14　入選
1999年　てんくスクエア、
　広島市水の国/MUSEUM104、
　島根県
2006年（2012年）
　ギャラリーG、広島市
2013年　オリエンタルホテルデザイン
　ギャラリー、広島市
2015年　第14期八千代の丘美術館
　入館、安芸高田市

夕暮れ時はアート作品がライトアップ！
（18:00～22:00）

ご案内マップ

宮島の古寺めぐりと散策と幻想的な炎の宮島はいかがですか？古寺めぐりでは現代アート作家が「悠久の宮島」をテーマに制作した作品が古寺の境内や本堂等に展示されます。また、しまあかり宮島は今回で3回目となり、世界遺産や歴史的建造物がライトアップ。表参道商店街では切り絵の行灯が優しい光で彩ります。

幻想 厳島物語

しまあかり 宮島 開催場所

- A しまあかり宮島～表参道商店街～
- B ライトアップ　大鳥居・厳島神社社殿・五重塔・多宝塔
- C 大聖院～滝小路スペシャルライトアップ
- D 大聖院～スペシャルライブ

宮島古寺めぐり スタンプラリー H28.4.2～5.29

『宮島 古寺めぐり』を開催している島内8ヵ寺に設置してあるスタンプを集めよう！
小路を歩きながら隠れた史跡や歴史にふれてみませんか？

抽選で賞品をプレゼント！

ペア1組

宮島ホテルまこと宿泊券

【利用期限】
平成28年7月1日～平成29年6月30日

※ご利用されたい日にちをホテルにご確認ください。
※空室がない場合はお断りさせていただくことがございます。

100名様

イメージ写真

やまだ屋 もみじ饅頭詰め合わせ

お一人様１箱（8個入り）

下記応募用紙にご記入の上、「宮島桟橋フェリー乗場内観光案内所」に設置してある応募箱へ投函してください。

キリトリ線

スタンプラリー賞品応募用紙

『宮島 古寺めぐり』を開催している８ヵ寺（真光寺・存光寺・徳寿寺・不動堂・大願寺・宝寿院・光明院・大聖院）にスタンプポイントを設置しています。4ヵ寺をめぐっていただき、下記の台紙にスタンプを押してご応募していただくと、抽選で素敵なプレゼントが当たります！

スタンプ　スタンプ

スタンプ　スタンプ

キリトリ線

氏名　　年齢　　歳

〒
住所

電話

◆ お一人様１口のご応募に限らせていただきます。
◆ 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※本事業に関して、お預かりした個人情報は「宮島古寺めぐり」に関する業務以外には一切使用いたしません。